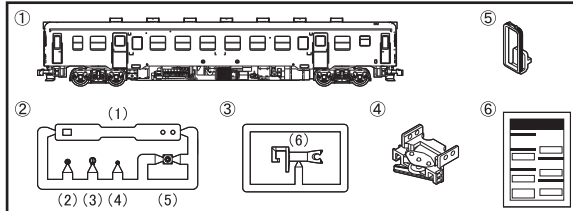


この度は、ロクハン製品をお買い求め頂きありがとうございます。鉄道模型は精密に出来ておりますので、ご使用前にこの説明書をよくお読みになって、正しくお使い頂きますようお願い致します。

## 1 取り扱い上の注意

- 本商品の運転には、必ずロクハン製コントローラーをご使用ください。
- 運転の前には線路（金属レール）の清掃をしてください。
- 車輪に汚れやホコリが付着したら拭き取ってください。
- 長時間の連続走行はしないでください。
- 走行中、急激に進行方向を切り替えないでください。一度停車させてから進行方向を切り替えてください。
- 脱線やショートした場合はコントローラーの電源を切り、プラグをコンセントから抜いた後、原因を取り除いてください。
- 故障の原因になりますので、分解や改造をしないでください。
- 車両を直射日光や蛍光灯に長時間当てると塗装が変色しますのでご注意ください。
- ホコリの多い場所や高温多湿となる場所、暖房器具の近くでの使用、保管はお止めください。
- 感電の危険がありますので、製品をぬらしたり、ぬれた手で触らないでください。
- 製品の尖っている部分でケガをしないよう、十分ご注意ください。
- 工具を使用するときはケガをしないよう、十分ご注意ください。
- 商品特性上、この商品は8歳未満のお子様には適しません。8歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。

## 2 セット内容

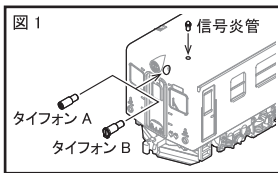


- ① キハ52形 100番代 …… 1台 ※ 図は T009-2 首都圏色です。  
 ② ランナーパーツ(大) …… 3枚  
 (1) スイッチ切り替えレバー …… 3個  
 (2) タイフォン A …… 3個  
 (3) タイフォン B …… 3個  
 (4) 信号炎管 …… 3個  
 (5) 列車無線アンテナ …… 3個  
 ③ ランナーパーツ(小) …… 2枚  
 (6) アーノルドカブラー …… 2個  
 ④ 複線用スノーブロウ …… 2個  
 ⑤ 幌 …… 2個  
 ⑥ 取扱説明書(本紙) …… 1枚

## 3 付属パーツの取り付け方

### 3-1 タイフォンと信号炎管の取り付け方

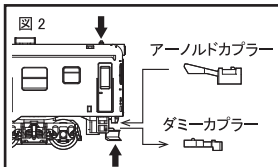
ニッパー等できれいに切り離し、図1を参考に取り付けください。タイフォンはAとBからお好みものを選択して取り付けください。反対側も同様に取り付けます。



### 3-2 カブラーの交換方法

出荷時にはダミーカブラーを取り付けてあります。増結する場合は、図2を参考にカブラーを交換してください。

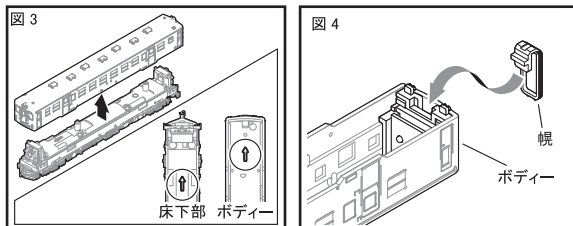
1. 矢印で示した位置を指で固定し、取り付けられているカブラーを水平に引っ張り、取り外します。
  2. アーノルドカブラーをニッパー等できれいに切り離し、逆の手順で取り付けます。
- アーノルドカブラーは、キハ同士を連結させる場合にご使用ください。  
 ※ 取り付ける際は、上下間違いの無い様ご注意ください。



### 3-3 幌の取り付け方

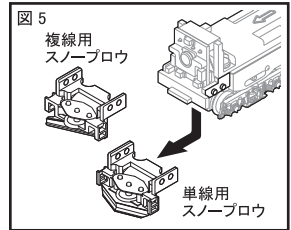
お好みで幌を取り付けられるようになっております。図3を参考にボディを真上に引っ張り取り外し、幌を取り付けてください。

※ 図3のボディと床下部の矢印のモールドは、先頭の向きを表しています。矢印の向きが合うように組み立ててください。



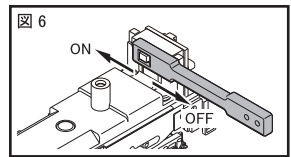
### 3-4 スノーブロウの交換方法

お好みで複線用スノーブロウに交換できます。交換方法は、『3-3 幌の取り付け方』の図3を参考に車両を分解し、複線用スノーブロウに交換してください。



### 3-5 ライトの消灯方法

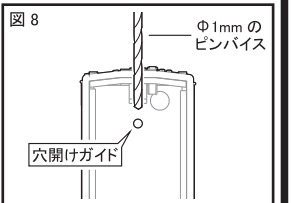
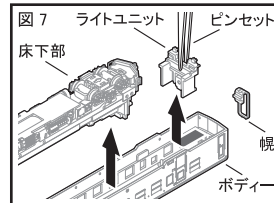
スイッチを切り替えることで、ヘッドライトとテールライトを点灯/消灯できます。『3-3 幌の取り付け方』の図3を参考にボディを取り外し、図6を参考にスイッチを切り替えてください。室内灯(別売り)を取り付けた後も、スイッチ切り替えレバーを使用する事で切り替え可能です。  
 ・ 出荷時は ON になっています。



### 3-6 列車無線アンテナの取り付け方(上級者向)

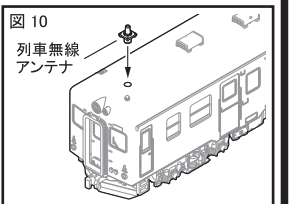
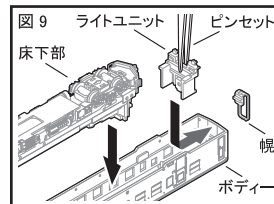
※ これから行う部品の取り付け工程は、模型を理解した上級者向けの作業となっております。加工する際には、ケガをしないよう工具の取り扱いに十分注意し、本製品の構造を良く理解したうえで慎重に作業を行ってください。また、この作業を行う際は、Φ1mmのピンバイス及びピンセット等が必要です。

製品は、国鉄当時の姿を再現している為、列車無線アンテナ取り付け穴は開けておりません。お好みで取り付けの場合は、下記を参考に取り付けしてください。



1. 図7を参考に床下部、幌、ライトユニットを外します。ケガをしないよう工具の取り扱いに十分注意し、本製品の構造を良く理解したうえで慎重に作業を行ってください。また、この作業を行う際は、Φ1mmのピンバイス及びピンセット等が必要です。

2. ボディを裏返すと穴開けガイド(一般へこんだ穴)がありますので、Φ1mmのピンバイスで穴を開けます。※ 先に取り付けした信号炎管を押さず、矢印の向きで押しつけてください。



3. 図7と逆の手順で車両を組み立てます。ライトユニットの組み忘れにご注意ください。

4. 列車無線アンテナをニッパー等できれいに切り離し、手順2で開けた穴に差し込みます。少しゆるい場合は、少量の接着剤をご使用のうえ、固定してください。

### 3-7 室内灯について

本商品は、別売りの[A015 室内灯 Bタイプ]を取り付けることが可能です。詳しくは、[A015 室内灯 Bタイプ]に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 4 メンテナンスについて

車両がスムーズに走行しなくなった場合やライトがちらつく場合は、車輪やレールに汚れが付着している可能性があります。市販のレールクリーナーを乾いた布に染み込ませ、車輪とレールの汚れを拭き取ってください。

※ 車輪を拭き取る際は、過度に力をいれないようご注意ください。

## 5 故障、修理について

- 誤った使用法、取り扱い、改造、分解によって起こった事故、ケガ、故障等については、当社では一切責任を負いません。また、改造、分解した商品の修理はお受けできません。
- 製品の仕様、及び外観は、改良のため予告なく変更することがございます。ご了承ください。
- 製品には万全の注意を払って製造にあっておりますが、万一お気づきの点がありましたら、下記までご連絡ください。